

中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会  
情報・技術ワーキンググループ(第5回)

意見

望月覚子

資料3の P24,25 について

事務局から提案していただいた案について特に異論ありません。

小学校と中学校のつながりについては、学びやすく考えられていると感じます。特に、小学校でプログラミングを体験し生成 AI の特性に触れ、中学校でアルゴリズムとプログラムや生成 AI の仕組みを学んでいるところなど、体験から理論に入っていけるようになってきていると思います。

また、(4)総合実習については、領域を横断して、個人の興味に合わせて探究することができるのではないかと期待しております。

なお、本 WG での検討事項ではありませんが、2点感じたことを挙げます。

1つ目です。研究開発学校として情報の時間に取り組んだ本市の高森台中学校では、総合的な学習の時間に情報の時間に身につけた資質能力を活用して、個人探究に取り組んできました。

各教科や総合的な学習の時間での探究への繋がりを考えると、技術科で学んだことをつなげていくための「高次の資質能力」が現場に理解されるために、中学校側が小学校での「ミニ探究ユニット」等の取り組みを適切に把握できる体制を整えることが大切だと思います。

2つ目です。このように新たな学びが入ってくるため、各校での環境整備が必要になります。当然のこととは思いますが、このことについての検討も必要と強く感じました。